

事業所名

ブラッツ二子玉川

放課後等デイサービス・支援プログラム

作成日

令和7年

1月

1日

法人（事業所）理念		【法人】 生を受けてから最期を迎えるまで、だれもが住み慣れた地域で、その人らしい生を全うできる世の中をつくる 私たちの使命は、その人が持つ生きる力を引き出しその人の持つ意志の実現を支えていくことです 【事業所】 地域やご家族と一緒に子育てをする「療育機関」						
支援方針		・療育専門の保育士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が連携し、各々の専門的視点からお子様一人ひとりの発達を評価し必要な支援を提供しています。 ・社会に適応するために必要な力（話を聞く姿勢、一斉指示の理解と行動、状況を読む力、相手とのやり取り、協力、気持ちのコントロール、心の耐久性）、人と関わることの楽しさを育みます。☒						
営業時間		9時	30分	17時	30分	まで	送迎実施の有無	なし
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	・身の回りの整理整頓（プリント綴り、机の上の筆箱・ファイル・プリント、荷物やロッカーの中）に意識が向くようになるよう声掛け・支援していきます。 ・みんなが使う場としての意識を向け、ものを大切に、片付けができるように意識づけを行います。 ・活動に見通しをもって意欲的に取り組み、様々な経験が積めるよう課題（運動遊び・机上課題・ボードゲーム等）設定を行います						
	運動・感覚	・学校生活の中で基本的な能力となる「姿勢」「運動」を育て、ソーシャルスキルの基礎を育てます。 ・バランスボールを用いた運動で、身体や各関節の適度な柔軟性、体の筋肉のバランスを整えます。姿勢保持に必要な体幹へのアプローチを行います。 ・分離協調運動：四つ這い、高這いなど様々な協調運動の経験を積み上げ、運動動作のスキルの向上を図ります。 ・製作活動を通して、手先の操作技能の向上をめざします。						
	認知・行動	・読み・書き・気づき・身体の使い方につながる「視機能」を育てます。 ・視機能と身体のつかい方を丁寧に分析し、トレーニングを通じて安心して、自信を持って毎日を過ごせるようにします。 ・お子さん一人ひとりの特性、認知機能の凸凹を見つけ、学習土台の認知機能を強化し、学校生活や学習のつまずきを減らしていきます。						
	言語 コミュニケーション	・読み書きの難しさをアセスメントし、お子様の強みを生かしたプログラムを立案します。 ・具体的な場面を設定して、実体験していくことで学校生活に必要なやりとりの言葉を育てます。 ・自分の気持ちや相手の気持ちに気づくことができるような支援を行い、子ども同士のコミュニケーションを育みます。						
	人間関係 社会性	・「人との関わり方や「環境」への適応への苦しさの軽減を目指します。場面にあった豊かなコミュニケーションの力とソーシャルスキルを育てます ・役割分担の中から、任されたことを最後まで取り組めるよう支援し、責任をもって取り組む姿勢を育みます。 ・勝敗や順番など、自身の思い通りにならない経験を通し、気持ちに折り合いをつけて活動に参加する力、心の耐久性が育つよう支援します。						
家族支援		ご家族に寄り添い、子育てやご家族に関する相談・助言を随時行っています。年2回（6月頃、11月頃）の定期所内相談：主所属先・ご家庭の様子をお聞きしながら相談援助を行います。その際、お子様の活動の様子を見学できます。 グループ保護者会：活動内容や支援のポイントなどお伝えしています。			移行支援		移行先と情報共有を図ります。 保育所等訪問支援にて移行先に訪問いたします。	
地域支援・地域連携		学校などに必要に応じて見学したり、お子様の支援方針について情報共有します。 他の発達支援事業所などと情報共有し連携を図ります			職員の質の向上		全社員向けの研修：虐待防止・感染症・災害など 社内小児ベースアップ研修：運動発達・摂食嚥下・評価など 社内小児アドバンス研修：発達性協調運動について・就学準備など ブラッツ勉強会：月に一回他のブラッツ事業所合同で勉強会を開催	
主な行事等		季節の行事等						